

共同生活援助 ころろ&つばさ地域連携推進会議 会議録

1. 開催概要

- 開催日: 2026年2月25日
- 開催場所: 障害者支援施設カトレアの園 (松の園 3階多目的室)
- 開催内容: 施設見学、施設概要説明、意見交換
- 公開区分: 概要公開

2. 出席者

(1) ご利用者関係

- ご利用者家族 2名 ご利用者 3名

(2) 地域関係者

- 近隣福祉施設 施設長 1名 ・地域民生委員 1名 ・宝塚市福祉課職員 1名

(3) 施設職員

- 施設長 1名 ・主任 2名 ・副主任 1名

3. 会議の目的

- 地域との連携強化
- 施設運営の透明性確保
- ご利用者の権利擁護の推進
- 外部意見を取り入れたサービス向上

国の方針に基づき、施設の取り組み状況を地域へ開示し、意見交換を行うことを目的として開催した。

4. 施設概要説明(要旨)

初めに地域連携推進会議の目的と構成メンバーの説明を行った。

(1) 利用者状況

- 身体障害者の障害像。脳性麻痺の特徴について
- 姿勢ケア、ノーリフティングケアについて(ご利用者のエピソードも交えて)
- グルーウホームを立ち上げるまでの過程
- ご利用者の生活の様子
- ご利用者の地域とのつながりの様子

5. 施設見学

こころ&つばさ内の見学。

- ・ 居室 ・ 食堂 ・ 風呂場

日常の生活環境や支援体制について説明を行った。

6. 主な意見・感想

地域福祉施設長より

- ・ リフト導入など安全対策が参考になった

民生委員より

- ・ 実際に見学することで施設理解が深まった
- ・ 地域とのつながりを継続してほしい
- ・ ボッチャは本当に楽しいスポーツ。また皆さんとボッチャで交流したい。

宝塚障害福祉課 職員より

- ・宝塚ではグループホームからシェアハウスに移行する事例がある
- ・新規入所者の確保も課題
- ・防災対策も重要

ご家族より

- ・ 施設での生活が安心できる場となっている。
- ・ 楽しんで生活していることがわかる。毎年正月は帰省していたが最近は帰省しなくなった。
- ・ 本人たちの生活の場となっている。機器の充実も驚いた。
- ・ 月に1回は訪問するようにしている

7. 今後の課題

- ・ 利用者の高齢化・医療対応の充実
- ・ 地域との継続的な関係づくり
- ・ 人員不足に対する働き方の変革・ICT化
- ・ 入所者の確保

8. まとめ

施設見学・施設概要説明を通して支援の実際を共有し、外部の視点から貴重な意見をいただいた。今後も地域との連携を深め、利用者が安心して暮らせる環境づくりを継続する。

地域連携推進会議 実施報告(公開用要約文)

地域連携推進会議を開催しました

当施設では、地域との連携強化および運営の透明性向上を目的として、地域連携推進会議を開催いたしました。

当日は、ご利用者のご家族2名、ご利用者3名、近隣福祉施設の施設長、地域の民生委員の方、宝塚市福祉課職員にご参加いただきました。

会議では、まず施設概要の説明を行い、身体障害の特徴やそれに対する支援の内容。日常のご利用者の生活の様子をお伝えした。その後施設内の見学を実施し、生活環境や日中活動の様子、福祉機器の導入状況などをご覧いただき、最後にご意見をいただきました。

参加者からは、

- 実際に見学できて理解が深まった
- 利用者主体のきめ細やかな対応をされていた
- 安全対策やリフト導入が参考になった
- 施設での生活が安心できる場になっている

などのご意見をいただきました。

今後も地域の皆様とのつながりを大切にしながら、ご利用者が安心して暮らせる支援体制の充実に努めてまいります。